

一般社団法人秩父地域おもてなし観光公社
定時社員総会及び理事会

(第11期)

一般社団法人 秩父地域おもてなし観光公社議案書

自令和5年 4月 1日

至令和6年 3月31日

(第12期)

一般社団法人 秩父地域おもてなし観光公社議案書

自令和6年 4月 1日

日時：令和6年 7月 1日

場所：秩父市役所3階庁議室



一般社団法人秩父地域おもてなし観光公社定時総会次第

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

第1号議案 第11期 事業報告及び決算について
＜監査報告＞

第2号議案 役員（理事）改選について

第3号議案 第12期 事業計画（案）、予算（案）について

4 その他

5 閉 会

一般社団法人 秩父地域おもてなし観光公社
第11期（令和5年度）事業報告書

◎滞在型観光の推進

1 広報宣伝活用事業

(1) HP、SNSの活用 (<https://www.chichibu-omotenashi.com/>)

現在、プロモーション活動の主力であるSNSを積極活用した。Facebookは毎日更新。また、InstagramやXも効果的に投稿した。

フォロワー数：Facebook 13,162人、Instagram 3,929人、X 4,650人(6/10現在)

また、HPも「お祭りプロジェクト」の活用や札所巡りの多言語化など秩父地域全体をPRするコンテンツの充実を図った。

(2) デジタルサイネージ等

西武鉄道株と連携し、西武池袋駅、西武秩父駅や各観光案内所でのデジタルサイネージで観光PR用動画コンテンツを放映し、イメージアップと誘客を図った。

(3) ロケーションの誘致

継続して、ロケーション需要が増えていることをチャンスと捉え、積極的に対応し、秩父地域の露出に努めた。

(4) 秩父おもてなしTV（チャンネル登録数：8,877人 6/11現在）

秩父市から業務委託を受け、ユーチューブチャンネル『秩父おもてなしTV』の定期更新（毎週水曜日）や秩父の魅力を伝える企画番組を放映した。また、秩父市教育委員会や民間会社からの制作依頼を受け、新たな地域メディアになるように運営をした。

2 農泊を活用した教育旅行誘致事業

コロナ禍で2年間全く受入ができなかったが、令和4年度から学校の承諾のもと、依頼があった学校の受入を再開した。

(1) 受入校 ⇒P8 別添1参照

(2) 体験プログラムの販売

教育旅行の一環として、農泊受入の際に開発してきた体験プログラムをホテル泊でも秩父らしい体験をしていただくようプログラム構築し、販売する。

○ 東京都江東区私立中村中学校 85名 5/8（田植え体験）

○ 東京都江戸川区立小岩第五中学校 83名 7/26（ラフティング、ハーバリウム体験、バーベキュー）

○ 千葉県松戸市立古ヶ崎中学校 100名 9/5（稲刈り体験）

(3) 受入家庭の確保

ブランクや年齢層も上がり、既存受入家庭も環境が変わっていることから、家庭数がかなり減少している。しかし、申し込み数は徐々に増えており、今までには交渉していない団体を通じたり、個別にも積極的に声掛けして、安定して受入可能な件数、200軒

以上を目標にして開拓した。

※今年度実績：秩父3軒、大滝2軒、荒川2軒、横瀬4軒、皆野1軒、小鹿野1軒

(4) 農泊誘致営業

埼玉県の教育旅行補助金を活用し、秩父地域の民泊を扱ってくれた実績のある地域（都内、神奈川、関西）の旅行会社を中心に民泊誘致の営業を実施した。また、長野県飯田市で開催された、全国ほんものネットワーク（農泊の全国組織）研修会（9/7～10）に職員4名で参加し、農泊の全国事例を学んだ。

3 地域旅構築事業

令和5年度は秩父市森づくり課から業務委託を受け、「森林環境学習コーディネート」として森林についての座学や課外学習を会社のプログラムとして実施した。

- ① 荒川小学校 4年生（6/29, 7/4, 9）、5年生（11/13, 15, 16）
- ② 久那小学校 4年生（6/29, 7/11, 12）、5年生（10/27, 11/7, 28）
- ③ 吉田小学校 4年生（6/28, 7/6, 13）、5年生（11/13, 20, 22）
- ④ 社会科教育研究会現地視察（7/27）

4 西武鉄道 CSR

毎年、西武鉄道が実施している秩父地域1市4町を対象とした環境活動・地域貢献プロジェクトに協力した。（年6回 第43回～48回）

- 6/25（日）羊山公園、おがの化石、法性寺のジオガイド見学、整備活動：ジオ
- 7/27（木）花咲山整備活動、横瀬の紅茶体験等：横瀬町
- 8/17（木）無農薬野菜の農地整備、夏野菜収穫体験：小鹿野町
- 8/24（木）日野沢川ふれあい広場整備など（皆野町）：皆野町
- 9/18（月・祝）SDGs ワークショップ、森林体験：大学生限定
- 10/9（月・祝）竹林整備・竹あかり体験等：長瀬町

5 観光案内人育成事業

会社が事務局となり、地域内にある10のガイド団体が参加している「ちちぶ案内人倶楽部」として、「じゃらんNet.」で販売を強化したほか、NIPPONIA 秩父門前町の宿泊ツアーにも協力した。催行：37件

6 広域レンタサイクル

8年目を迎えた「広域レンタサイクル」を観光客の二次交通手段として確立していくよう、利用方法、PRについて運営を委託している観光協会等と検討をした。今年度は劣化した普通車6台（横瀬、長瀬）、電動11台（皆野、長瀬、小鹿野）を入れ替えて利便性を向上させた。 ※R5度実績 6,663台

7 サイクル巡礼運営事業（サイクル先達）

既存のサイクル巡礼に加え、秩父市から業務委託を受け、「サイクル先達」のシステムが構築できた。令和8年度の札所総開帳に向け、秩父札所巡りの新たなツールとして確立していくほか、レンタサイクル事業とともにPRしていく。

8 事務局運営

(1) 彩の国秩父地域観光協議会

観光客誘客を目的としたポスターの制作、【ちちぶ路】パンフレットやポスターの作成や公社事業と連動したキャンペーン事業を実施した。

(2) 秩父まるごとジオパーク

事務局として、「第13回ジオパーク全国大会 in 関東 (10/27~29)」のサテライト会場(今回会場は鉾子ジオパーク)として企画・運営をして成功を収めた。今年度は、来年度に控えた再認定審査に向け、組織・取組強化を図る。

◎外国人観光客の増加

定住自立圏の協定のひとつである「外国人観光客の増加」を推進するため関係団体と協力し、インバウンド事業の再始動に向けて取り組んだ。

- ・ 各種インバウンドセミナーへの参加
※日本政府観光局(JNTO)や行政、旅行会社等が開催する「インバウンドセミナー」に積極的に参加した。
- ・ インバウンドコア会議を開催し、民間事業者からの事業提案や意見交換を行った。
※ 52名参加
- ・ 外国人はグーグル検索による情報収集がメインとなるため、グーグルビジネスプロフィール研修会を開催した。
※ 1月23日開催 32名参加 地域内飲食店、宿泊施設等
- ・ 台湾からの訪日教育旅行の更なる強化のため、日本の民泊に興味のある台湾の校長先生6人の視察を実施。
- ・ 旅行者等に向け、FAM ツアーを実施し、秩父地域のPRを強化。※23名参加
- ・ 観光庁のインバウンド関連補助金を活用し、「アウトドアダイニング」、「秩父プレミアムウイスキー」～ジャパニーズウイスキー高付加価値化事業～を実施。
- ・ 秩父夜祭山車曳き体験、12月2日に秩父夜祭の屋台を曳くことのできる事業を実施 ※39名参加
- ・ 西武鉄道株のインバウンドチームと連携して、川越市、所沢市、秩父市、公社等とインバウンド事業について定期的に情報交換をした。
- ・ 日本政府観光局(JNTO)の正会員として、訪日外国人の情報やプロモーション事業(HPに商品を掲載等)に参画した。
- ・ JNTOのカテゴリー1を取得した、秩父観光情報館、横瀬町ブコーさん観光案内所、長瀬町観光情報館と協力・連携
- ・ インバウンドガイド「arce」(公社事務局)
※観光庁や埼玉県の事業を事務局と連携してガイド育成やコンテンツ開発に繋げていく。

- ・JNTO（日本政府観光局）との連携
⇒正会員となっており、観光庁の方針として外国人誘客のプロモーションはJNTO
に一元化も検討しているため積極的に連携した。

◎地域ブランド確立事業

1 販売促進

- * 秩父夜祭同時開催の「絹市」や第11回ウイスキー祭に出店してPRに努めた。

2 地域商社機能の確立

（一財）秩父地場産業振興センターを公社と統合して2年目を迎え、地域商社機能の充実を図った。

(1) じばさん商店

- 秩父市の負担金及び内閣府地方創生交付金を活用し、じばさん商店を核とした地域商社拡張事業を実施した。最終年度となった今年度は地域商社の強化期間と位置づけ、外部人材をアドバイザーとして登用し、キッチンカーによる新たな販売戦略の確立、新商品開発など、次年度以降の実証期の準備として新商品開発や販路拡大に向けたプロモーション、テストマーケティングを積極的に行なった。また、公社のECサイトとじばさん商店のふるさと便の統合を図った。⇒P9 別添2 参照

(2) 西武秩父駅「祭の湯」

- 店舗運営「LOVE CHICHIBU ショップ」
 - ・「みやげ市」の一角に出店したブースに、新たな特産品の発掘やオリジナル商品の構築及びMDを行い、地域ブランドの確立に向けた取組を実施した。
 - ※祭の湯と公社（ちちぶ乾杯共和国）で昨年引き続き「第2回ちちぶ cheeses!! フェスティバル」（9/30, 10/1）及び「ちちぶ×としまマルシェ」（11/3）を共同開催した。 場所：祭りの湯駐車場

(3) レストラン列車「52席の至福」

- デイナーコースのお土産

⇒3ヶ月に一度変更される特産品を検討し、地域ブランド商品の検討に繋げた。

4月～6月：いちごようかん（和同農園）と横瀬の紅茶、栃ふさ緑茶

7月～9月：銘仙ゼリー3種（亀沢屋）、

10月～11月：乾そばと秩父名物くるみだれ（せきた食品）

- 企画運行への協力

⇒52席の特別企画への食材協力

- ・食育ワークショップ 8/17（秩父かぼす：小鹿野）、10/28（横瀬の紅茶）
- ・秩父鉄道初の乗り込み運行 8/23（ながとろ紅茶）
- ・特別スイーツ企画 11月～2月（ぽろたん：皆野）

(4) 産官学連携特産品開発

○ 女子栄養大学と協同で1市4町の食材を活用した新たなお菓子を地域内の業者と共同で新たな特産品を開発した。三年目となる今年はNIPPONIAで運営する小池カフェのメニュー開発を行った。

① 8/4～（第一段）

3種のパンナコッタと味噌キャラメル【酒かす（秩父）、借金なし味噌（横瀬、麦茶（皆野）、桑茶（皆野）】

② 11/25～（第二段）

- ・酒かすのテリーヌ 柿ソース【酒かす（秩父）、柿（長瀨）】
- ・黄金かぼすのブルドネージュ【黄金カボス（小鹿野）】

◎ その他

1 地域振興一元化事業

（一財）秩父地場産業振興センターからの引継ぎにより、定住自立圏事業（ちちぶ空き家バンク、産学官コーディネート事業、中小企業応援プロジェクト事業）及び森林環境譲与税窓口一元化事業、広域秩父産業連携フォーラム（FIND Chichibu）をじばさん商店と連携して行い、秩父地域の地域振興事業の一元化を目指した。

2 秩父市地場産業支援センター管理運営業務（秩父市からの指定管理）

秩父市が所有する「秩父市地場産業支援センター」の指定管理を受け、センターの施設運営及び貸館業務を行う。また、「じばさん商店」と連動する形で秩父駅の施設として賑わい創出をした。

3 第2のふるさとづくり事業（観光庁補助金）

観光庁の「第2のふるさとづくり事業」に令和4年度から2年連続採択され、秩父地域はお祭りを活用した参加型ツアー、農泊、ファンコミュニティの構築による「第2のふるさと」づくりを目指す事業を実施した。同時にファシリテーターの育成を行い、地域住民10名が参加した。

- ① 秩父音頭祭り（中止）×長瀨船玉祭り ②龍勢祭 ③小森諏訪神社 ④秩父夜祭（一週間前、前夜祭） ⑤鉄砲祭り

4 インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業（観光庁補助金）

- ① 日本のサン・セバスチャンを目指して・秩父の自然が生み出す発酵食×日本を味わう期間限定『アウトドアダイニング』

秩父神社から続く昭和レトロな街並みを舞台に、美食×酒を手軽に楽しめるコンテンツを企画実施。（10/27, 28, 29 ジオパーク全国大会と同時開催）

- ② 多言語解説VR体感シアター「秩父×ジオストーリー」

10月に「第13回ジオパーク全国大会 in 関東」に合わせて、ストーリー性のある多言語解説VR体感シアター「ジオパーク秩父とおきの物語」を目玉コンテンツとして造成した。全国大会以降も多言語解説VR体感シアターにて地域内の施設等で見られるよ

うに検討中。

5 観光再始動事業（観光庁補助金）

『秩父プレミアムウイスキー』 ～ジャパニーズウイスキー 高付加価値化事業～

- 秩父の気候が生み出したシングルモルトウイスキー「イチローズモルト」の秘密を探る！「プレミアムウイスキー特別プログラム」を実施した。

（体験コンテンツ内容）

- ・西武鉄道の観光レストラン列車「52の至福」を貸切運行
- ・ワールドウイスキーアワード世界最高賞を受賞した原点である秩父蒸溜所を特別公開
- ・ウイスキーを知り、秩父のグルメとウイスキーのペアリングメニューの食事
- ・サステナブルコンテンツ…ウイスキー樽を使った木工細工体験
- ・秩父ウイスキー祭りチケットを外国人への販売システムの構築

6 地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業（観光庁補助金）

観光地経営のマスタープランとなる1市4町の地域計画を策定し、宿泊施設・観光施設の改修、廃屋の撤去、面的DXなどの地域・産業の「稼ぐ力」を回復・強化するための取組を支援する事業で1市4町の観光担当と連携し、地域の宿泊施設・飲食施設の75件（辞退5件）を取りまとめる形で公社が代表して申請して採択となった。（令和5,6年度）

また、公社事業として「面的DX」でちちふ乾杯共和国パスポートのシステム強化を図った。

7 持続可能な観光推進事業

昨年のモデル事業の取組を継承する形で、観光庁「持続可能観光ガイドライン（JSTS-D）」を進め、将来的に国際認証「グリーンデスティネーション」を目指していく取組を開始した。⇒観光庁よりJSTS-Dロゴ活用承認（4/18）⇒6年度以降も継続

8 日本版DMOの推進・確立

観光庁は世界標準DMOを目指すよう先駆的DMOに向けた取組を推奨しているため、継続しマーケティング事業を確立していく。また、研修視察等にも対応する。

※令和5年度観光庁より「意欲あるDMO」50団体に認定

※じゃらんアワード「元気な地域大賞」受賞

（1）観光マーケティング

- ・日本版DMOとして、必須KPIである「旅行消費額、観光客満足度、リピーター率、総宿泊者数」を1市4町観光協会、秩父旅館業協同組合に委託し継続した調査実施。
- ・ちちふ乾杯共和国パスポートによる「CRM（カスタマー・リレーションシップ・マーケティング）」の拡大・強化
- ・（一社）埼玉県物産観光協会（彩の国DMO）が採択された（公財）日本観光振興協会のDMP（デジタル・マーケティング・プラットフォーム）のモデル事業に協力。

（2）観光地域づくり法人の体制強化事業（観光庁補助金）

- ・専門家として村松知木氏、職員として竹内則友の人件費

- ・プロパー職員の研修として「グロービスMBA」を受講
- (3) 観光データ活用研修会
 - ・会社の職員及びじばさん商店の職員を中心にマーケティングの研修会を9回開催する。(ワールドビジネスアソシエイツに委託)
- (4) 視察・講演対応
 - ① 視察 (・7/4 武蔵野銀行、7/27 群馬大学、8/4 横浜市立大学、8/7 立教大学、8/11 目白大学、富山県魚津市 9/25・10/6、観光庁若手プロパー職員研修【26名参加】11/16, 17、北海道大学 2/19)
 - ② 講演 (秩父高校 5/11、Near社 6/29、深谷テラスパーク 7/3、京都大学政策研究所 9/9、北陸運輸局(北陸DMO会議) 10/30、川口女子短期大学 12/15、國學院大學 12/22)
 - ③ アドバイザー依頼 (・北海道仁木町【道の駅設立】 ・東京都清瀬市【観光協会設立】、・(株)JR企画【社内研修講師】、・沖縄八重山DMO)

9 ちちぶの広報部

令和4年度、埼玉県未来会議の採択事業である「ちちぶの広報部」事業を埼玉県からの委託により実施した、高校生、大学生に企業訪問してもらい学生目線で企業の魅力を SNS (公社 Instagram) で発信してもらう事業を今年度は秩父雇用対策協議会が継続する形で実施した。 ・企業20社、アンバサダー30人が参加

10 第75回全国植樹祭秩父地域推進協議会への協力

令和7年に秩父ミュージックパークで開催されることが決定している全国植樹祭にむけて、推進協議会に参加し、積極的に協力していく。

11 NIPPONIA 事業への協力

昨年8月にオープンした、NIPPONIA「秩父門前町」で、共同出資者である株式会社NOTE、(株)西武リアルティソリューションズと連携し、公社は主に経理担当として経営に協力する。

12 秩父札所総開帳誘客促進協議会への協力

昨年3月に設立された、秩父札所総開帳誘客促進協議会に参画し、令和8年度の総開帳に向けた取組を札所連合会と協力して進めた。

令和5年度実績

別添1

日付		学校名	生徒数	家庭数	備考
5月22日	2泊	新北市南山高級中學校	64	21	
6月17日	1泊	一橋大学	15	4	型染め体験
7月22日	1泊	江戸川区立鹿骨中学校	87	26	
7月31日	1泊	学校法人水野学園	18	6	
9月4日	1泊	松戸市立古ヶ崎中学校	100	32	稲刈り体験
10月11日	2泊	東大和市立第二中学校	93	31	市の補助金有(会長印が必要)
10月24日	1泊	国立新竹科学園区実験高級中等學校	25	8	
10月31日	2泊	新北市南山高級中學校	33	10	
11月8日	1泊	国立彰化高級中學	47	14	
11月23日	1泊	一橋大学	16	4	型染め体験
11月25日	1泊	第2のふるさとプロジェクト	10	1	
12月9日	1泊	第2のふるさとプロジェクト	15	1	
12月12日	1泊	新台北市三重高級商工職業学校	34	10	
2月2日	1泊	臨沂開恵宝験学校	35	10	
3月4日	1泊	京都精華学園	65	19	
	合計	15 校	657人	197軒	年度末家庭数 127